

平成 27 年度 学校自己評価システムシート (県立進修館高等学校)

| | |
|--------|---|
| 目指す学校像 | 「進徳修業」の精神に基づき、知・徳・体の調和のとれた人材を育成し、明るく活力にあふれ、地域から信頼される学校。 |
|--------|---|

| | |
|------|---|
| 重点目標 | <ol style="list-style-type: none"> 一人一人に応じた学びを支援し、確実な学力の向上と第一志望をかなえる進路指導を実践する。 規律ある態度と豊かな人間性を育み、笑顔で活気のある生徒を育てる。 教育活動を積極的に発信し、地域の期待と信頼に応え、地域とともに歩む学校を目指す。 |
|------|---|

| | | |
|-----|---|--------------|
| 達成度 | A | ほぼ達成 (8割以上) |
| | B | 概ね達成 (6割以上) |
| | C | 変化の兆し (4割以上) |
| | D | 不十分 (4割未満) |

| | | |
|-----|----------|----|
| 出席者 | 学校関係者 | 5名 |
| | 生徒 | 3名 |
| | 事務局(教職員) | 7名 |

| 学校自己評価 | | | | | 学校関係者評価 | | |
|--------|--|--|---|---|---|-----|--|
| 年度目標 | | | | | 年度評価 (2月8日現在) | | |
| 番号 | 現状と課題 | 評価項目 | 具体的方策 | 方策の評価指標 | 評価項目の達成状況 | 達成度 | 次年度への課題と改善策 |
| 1 | <p>学力や進路希望が多様な生徒の実態を踏まえ、一人一人に対応したきめ細かい授業実践による確実な学力の向上・定着が必要である。また、これを実現するための体制整備や不断の授業改善を推進する必要がある。</p> <p>多様な進路希望に対応した計画的組織的なキャリア教育、進路指導を進める必要がある。</p> | <p>○個に応じたきめ細かい授業実践や授業改善による学力向上の取組</p> <p>○生徒の進路希望を踏まえ、第1希望を実現する組織的・計画的な進路指導の取組</p> | <ul style="list-style-type: none"> 「授業心得」の徹底と、学習に意欲的に取り組む態度の育成 基礎学力向上や進学・就職のための補習授業・個別指導の充実 学力把握のため実力テストの実施 授業改善のための教員研修会の実施 2020年構想委員会での長期的な取組構想の検討と具体化 | <ul style="list-style-type: none"> 年度末欠点者数が10%以上減少したか。 進学や就職に向けた補習講座数と参加生徒数が増加したか。 授業改善のための教員研修会が実施できたか。 2020年構想委員会での検討が進んだか。 | <p>○多様な学びを支えるきめ細かい指導を実践し、目標を達成。</p> <ul style="list-style-type: none"> 欠点保有者数は前年比34.7%減少。 長期休業中の補習は若干減少したが、早朝や放課後に各種補習をほぼ毎日実施。 新しい教授法や高等学校基礎学力テスト等に係る研修を実施し、教員相互の授業見学週間を設置。 2020年構想委員会で新学習指導要領及び将来構想について検討。 | A | <ul style="list-style-type: none"> 多様な学びを支援するため補習等の個に応じた指導を拡大していく。 2020年構想委員会、進路指導部を中心として「新しい学習指導要領を見据えた学力の向上」、大学入試改革・高大接続や高等学校基礎学力テスト等に関する研修会を継続的に実施する。 ものづくりコンテスト旋盤部門県大会優勝などの成果を継続させる。 模試等を利用した進学指導のための教員研修を実施する。 大学進学者数、就職内定率を向上させる。 |
| 2 | <p>共通理解に基づく組織的な生徒指導が定着しつつあり効果を上げているが、服装や頭髪・遅刻指導等、継続して規律ある生活態度を身に付ける指導を進める必要がある。</p> <p>部活動や学校行事の活性化は生徒の自信と学校の活力を生み好影響を与えている。運動部、文化部ともに各活動を一層活性化させ生徒の積極的参加を促す必要がある。</p> | <p>○共通理解に基づく組織的・重点的な生徒指導の推進と生徒支援体制の充実</p> <p>○部活動の活性化</p> <p>○生徒が主体となった活動、学校行事の充実・活性化への取組</p> | <ul style="list-style-type: none"> あいさつ指導の推進 登下校指導、校外巡回指導、服装・頭髪指導の計画的実施 問題行動やいじめ等の早期発見と未然防止のための面談や調査の実施 交通事故防止等に向けた講話や巡回指導の実施 | <ul style="list-style-type: none"> 遅刻生徒数が年間10%以上減少したか。 生徒アンケート結果により、規律ある生活態度の改善が確認できたか。 行田警察署やPTA等と連携した取組を行ったか。 交通事故件数が減少したか。 | <p>○統計及びアンケートの両面から改善が確認。</p> <ul style="list-style-type: none"> 遅刻数は昨年比52.8%減。 アンケートにより97%の生徒、96%の保護者が学校の規律ある態度の育成に係る取組を評価。 日常的な教職員の交通指導や定期的なPTAや警察等と連携した指導等により事故等も激減。 | A | <ul style="list-style-type: none"> 保護者や地域と連携した指導を継続する。 部活動の加入率を増加させ、さらに活気のある学校をつくる。 今年度実績(女子ハンマー投げ全国選抜優勝、空手道部関東大会、全国高校生国際美術展で外務大臣賞受賞、ホンダエコカーコンテスト全国2位、ロボットコンテスト全国大会出場、書道パフォーマンス実施等)を継続、発展させるため、引き続き行事や部活動での生徒の自己実現を積極的に支援していく。 |
| 3 | <p>行田市唯一の県立高校として、地域との連携を一層深め、地域からの期待や要請に積極的に応える必要がある。</p> <p>学校情報の積極的発信と発信方法の工夫改善、地域と連携した生徒の活動の拡大等により、学校理解を深化・定着させ、安定した生徒募集につなげる必要がある。</p> | <p>○創立百周年事業の計画的実施</p> <p>○市内の小中学校や地域と連携した活動の充実</p> <p>○工夫改善した複数手段による学校情報の積極的公開</p> <p>○生徒募集の充実</p> | <ul style="list-style-type: none"> 創立百周年記念事業の計画的推進と式典の開催 部活動等による、市内小中学校や地域関係機関等との積極的交流の推進 | <ul style="list-style-type: none"> 創立百周年式事業が計画的に推進され、式典が実施できたか。 部活動等による、生徒参加型の小中高交流や地域貢献が活発に行われたか。 | <p>○地域に貢献し、地域の中で光る学校として魅力を発信。</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒、職員、保護者、同窓会が一体となり創立百周年事業を実施し、高い評価を得た。 生徒会や各々が地域と活発に交流。 | A | <ul style="list-style-type: none"> 学校通信の内容を再検討し、進路指導や交流活動など多方面からの情報発信を行う。 本校の理解を深めてもらうために、授業の様子等を発信しさらに魅力あるHPを創造する。 在校生の参加等による魅力ある学校説明会を開催する。 中学校訪問地域を拡大し、本校の魅力をさらに広範囲に発信する。 |

・授業見学等を通して、システムシート上の数値的な改善以上に、生徒の学習に取り組む積極性や意欲を感じた。また、自主的に行動する姿には大変感銘を受けた。

・進路指導室の環境が改善され、より効率的な指導が可能となり、就職内定率の向上に繋がっている。また、職場見学等進路の新しい取組も導入され、継続的に取り組むことで進路実績の向上へ跳ね返っていくだろう。入学時点から生徒が自分の進路に関心を持つような進路室の活用を図られたい。

・教員相互による授業見学週間の設定は大変意義があった。年齢を超えた教員内の研修により教育活動が充実し、生徒の成長に繋がっていく。

・登校指導等、保護者や地域と連携した取組は意義がある。地域の方々も大変好意的に捉えているし、生徒と教員の一体感も生まれている。保護者自身も、参加することにより学校や子供の様子が見えてくる。

・生徒も地域を意識して行動・活動してくれており、地域の人々も学校を応援する意識が拡大している。

・学校行事に生徒一人ひとりが積極的に取り組んでいる。今後も生徒会が中心となり、生徒が積極的に行事に取り組む学校づくりを目指したい。

・部活動の活性化、成果の継続のために生徒自身も伝統の継承を意識し頑張っていきたい。

・校内案内に生徒のアイデアを活かすなど、生徒の取組の活用を考えると面白い。

・学校通信の地域での閲覧回数が倍増し、学校に対する地域の理解度が確実に高まった。学校通信以外にもさらに充実をした情報発信に努め、学校理解を促進させ地元の生徒の入学率の向上に繋げてほしい。地域と一体となった学校づくりを期待する。

・現在の学校の状況、在校生の様子は大変素晴らしい。学校説明会では、実際に中学生が在校生の姿を目にし、学校の良さを実感できる工夫をしていただきたい。

・地域に根ざした学校づくりが定着し成果をあげている。近隣の大学としても交流を深めていきたい。